

WEEKLY REPORT

District 2630 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30 会場 シティホテル美濃加茂

Minokamo Rotary Club



2022~2023年度 RI会長: ジェニファー・ジョーンズ(カナダ)

RI テーマ: イマジン ロータリー

会長 大野 博文
副会長 山田 彰
幹事 酒向 信幸

事務局 〒505-0041
美濃加茂市太田町 2565-1
シティホテル美濃加茂 2F
Tel: 0574-25-2824 Fax: 0574-28-2575

HP <http://rc-minokamo.skr.jp/> Eメール minokamo@viola.ocn.ne.jp

本日のプログラム

第2633回10月21日(金) 12:30~
55周年記念式典リハーサル

次例会のプログラム

第2634回10月30日(日)13:30~
55周年記念式典

前例会(第2632回)の記録 10月14日(金)

- ◇点鐘・・・・・・・・・・・・・会長: 大野博文
- ◇ロータリーソング唱和
“奉仕の理想” “四つのテスト”
- ◇ゲスト紹介
FM ラインウェブ株式会社
取締役局長 遠藤文彦様
営業 星屋 弘貴様

■会長の時間 会長: 大野 博文

本日、たくさんの方に例会に参加していただきありがとうございます。今日14日は1972年に鉄道が開通をした鉄道記念日です。新橋と横浜間に官営鉄道という形で開通しました。明治に入ってわずか5年で開通、日本人が西洋の文化、技術を取り入れた結果がこの5年間に表れていると思います。そして美濃太田駅は1921年に鶴沼間まで開通したそうです。美濃太田というと宿場町として名残がありますが100年前の時から鉄道の街として岐阜県の中で栄えたのかなと思います。その後1972年に美濃加茂ロータリークラブが産声を上げました。あっという間に55年が経ち今年55周年です。170年前にペリーが来航し鎖国の日本を開国し20年という間に鉄道が日本国内に走るようになりそこから日本は経済という面も含め素晴らしい発展をしてきました。それはひとえに先人たちが新しいものを取り入れて

きたからなのではと思います。美濃加茂ロータリークラブも、女性の会員率が13%弱、40代以下の会員は25%を占め、こんなクラブは他にはないのではと思っています。これはクラブの先輩方が柔軟な考えで新しいものを取り入れ発展してこられたことを実感しております。残り2週間で式典を開催されることを嬉しく思うとともに会員数も55名までまだ増やしていきたいと思っています。ここにいらっしゃる先輩方、また若い会員の力を借りてこれからも発展していければと思います。

委員会コーナー

◆出席委員会 担当: 井上 充

例会日	総員数	出席	出席率
本日	39名	25名	64.10%
先週	38名	25名	65.78%

◆ニコニコBOX委員会 担当: 大前 友宏

大野博文: 本日のゲスト FM ららの遠藤様、星谷様、卓話楽しみにしています。また55周年でロータリーソング、国歌を歌っていただきます栗木様、本日は美濃可加茂 RC へようこそ。
酒向信幸: FM らら、遠藤様、星谷様、本日はよろしくお願いたします。栗木様、美濃加茂 RC へようこそ。55周年よろしくお願いたします。

佐々木晃：ロータリークラブ例会の昼食は黙食が基本です。上手にコミュニケーションをとり、楽しい有意義な時間としましょう。

井尾達之：2週連続で休みました。ゴメンネ。

福井哲朗：FM らら、遠藤局長様、星谷様ようこそ。

卓話楽しみにしています。

小原岳史：卓話よろしくお祈いします。

石田公司：FM ららさん、楽しみです。よろしくお祈いします。

島田紳助：遠藤様、星谷様、美濃加茂ロータリークラブへようこそ。

大脇ちさと：今日は、FM ラインウェーブ株式会社の皆様、ようこそいらっしゃいました。卓話楽しみにしております。

以下同文：山田彰、水谷美紀、福井寛悦、堀野義夫、山口正子、高井文洋、藤吉紀美、西田逸夫、濱田龍一、中嶋浩紀、鈴木玄二、安藤摩里、谷口真一、井上充、小柳晶寛、大前友宏、大岩雄哉、酒向伸治

◆55周年実行委員 委員長：藤吉 紀美

55周年式典リハーサルについて

◆その他 島田 紳助

次回 IDM について

55周年親睦ゴルフコンペ

◆幹事報告 幹事：酒向 信幸

- ・2023-2024年ガバナーノミニー
- ・ロータリー財団グローバル
- ・10/16 IM開催
- ・10/23 地区大会
- ・10/24 or 25 柿の収穫

本日の行事

FMラインウェーブ株式会社

取締役 局長 遠藤 文彦様

今日は貴重な時間ありがとうございます。

皆さんの表情が非常に穏やかで、奉仕の心が顔に表れていて、非常に素晴らしい会だと感じました。

さて、皆さん、FM ららをご存知でしょうか？聴いたことありますか？毎日聴いているという方はいらっしゃるでしょうか？

私どもは、『FMらら』76.8メガヘルツ、地域に根差したFM放送です。行政や地域の方々に出資をいただいで作り上げております。

ももとの経緯は、7.15集中豪雨災害、可児川の下流が増水して、アンダーパスで3名が亡くなったという大きな災害がありました。その時に、運転手が地元のラジオを聴いていれば、回避できたのではないかという話になりました。また、翌年の東日本大震災の時にも、地元の確かな情報を流そう、また、被災地での癒しともなるべくコミュニティFMが各地立ち上がりました。そこで、2012年にこちらにも開局いたしました。

防災というと、防災無線がありますが、なかなか聞き取れないというお声も多くあります。地元の住民の命を守る緊急情報システムとして、ラジオをご活用いただきたいです。また、FMらら専用の防災ラジオというものもあります。こちらは電源を入れていなくても災害時には緊急情報がながれるもので、美濃加茂市では希望者に無償貸与しています。防災放送の他には、定番放送やイベント会場からの生放送もごぞいます。行政の方やボランティアの方が、地元ならではの情報を流しています。

またアプリ「FM++」では、エリア外でもFMららが聴けて、アプリを起動していなくても、緊急情報が通知されます。是非ご活用ください。

放送の他に、地域の事業所を紹介する冊子も発行しております。放送や冊子は、事業所さんの広告費で成り立っております。美濃加茂ロータリークラブの会員さんの中にも、協賛いただいている事業所さんもあります。CMや冊子広告などがありますので、是非ともご活用ください。

今日は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

